

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を實踐し、をやの理を戴こう

本年の實踐項目

つとめに専心
百万軒にいがけ
全教会で陽氣ぐらし講座開催

婦人会創立90周年を

むかえるにあたって

—— 会員の皆様へ ——

婦人会笠岡支部長 上原きよれ

以下は、去る2月21日・22日に開催された「婦人会委員・直轄委員部長研修会」についての原稿の依頼に対して、大教会奥様より頂戴したものです。

婦人会創立90周年を目前にこの度婦人会として紙面でお話する機会を頂きましたので、婦人会活動について改めて整理してみようと思います。

婦人会は、明治31年3月25日増野いと様の身上に対する御神意をお伺いするおさしづの中に「婦人会として始め掛け云々」とのお言葉を頂き、幾多の波を乗り越えて明治43年1月28日に天理教婦人会として創立したのでございます。

この婦人会創立の元一日から90年を迎えたのが本年1月28日でございます。この創立後の旬々に元一日の思召にかえらせて頂いて陽氣ぐらしの台としてしっかりと働かせて頂く決意を新にさせて頂く私達でございます。

婦人会が今日まで、紆余曲折の道すがらを辿りながらずっと続いてきました。たのは、常に先輩方がおさしづの精神を忘れなかつたからでございます。

おさしづに拠りますと婦人会は、人間の体裁でする会でもなく、世上への義理でする会でもない。道の婦人会であるということが天理教婦人会としての資格の第一に挙げられる会でございます。

婦人会の会員はお道を通るに相応しい資格を持つようにお道の婦人らしい人になるように成人するといふことが、あらゆる活動の中で最も大切なことと言えるのでございます。

「婦人会というは道始めて互いくの論し合いの道治めてやれ」

「この道が始まって以来、古い生活にこういう

ことがあった。ああいうこともあった。その時教祖はこう教えられた。ああ論された。何と言われたか。」というようなことをお互いの生活の有様を省みて思案し、共に教祖のお目に適うように成人するために、互いに気づかない点を論し合うこと、因縁あつて教会に寄り集う人々が互いに打ち溶けて、心がいずむ時は教祖のひながたを共に思い起こし、「そういう時に、教祖はどうなさつた。何を教えられたか。そうして人々はそのお諭しをどう受け取つて実践して御守護を頂かれたか」というようなことを研究して、古い道すがらに私達の銘々の身を照ら

お知らせ

婦人会總會のため、4月18日・19日の両日、大教会の食堂業務を休業いたします

し合わせて思案し、心の向きを喜べない方から喜べる方へと切り替えようと励まし合って通ることが婦人会本来の活動の姿とおきかせ頂くのでございます。

元来婦人会は、会員の多少にかかわらず、お互いに談じ合いお互いの心をねり合うための会合であることを、私達は肝に銘じ忘れてはならないのでございます。

又、女でも、道の理がしっかり心に治まっていれば道の上の御用にお使い頂ける立派な道具とすることができるとお諭し下さり、親神様はそれをお望みになって婦人会を始めさせたとおきかせ頂くのでございます。婦人の成人を促がされて婦人会をおはじめ下さった親神様の御期待にこたえられるよう世界だすけの御用にお使い頂きたいものでございます。

私達は、教祖の教えを取り次ぐ者、私達は教祖の教えを伝える者、行為で、上手な言葉遣いで、あらゆる手段で教えを取り次ぐ者（広める者）。自分の考えを広めるのではなく自分の匂いを嗅いで貰うのではなく、親神様の思召をにいがける。まず自分の心を教えに則って治めてかかり、その治まった喜びの心を温みでしっかりとくるんで人の成人を助けるのに根気よく当たらせて頂きたいのでございます。教祖のお説きになるご教理と教理を実践する自分の間に矛盾のないように注意を払い、自分の態度の是非を決めるのに教えに沿って決めているか、決める心の中に世間の常識が潜

んでいないかよく考えさせて頂こうではありませんか。

私達の活動にとって大切なことは、一手一つに心を揃えること、みちがたいとして心を揃えさせて頂くこととでございます。この道を信仰する女としての役割を与えられた徳分のまにまに真実をもつてつとめきるよう心を揃えること、そしてどこまでも理を立てる自分の態度がにいがけとなりおたすけの源流となることを忘れないで頂きたいのでございます。

創立90周年に向かい活動の角目としてきたこと「育つ努力、育てる丹精、一手一つの和」は90周年が終われば終わってしまうというものではなく、

陽気ぐらし講座

推進研修会 開催

本年の実践項目の一つ

全教会での「陽気ぐらし講座」開催を促すべく、大教会では、二月二十日、推進研修会が実施されました。

「陽気ぐらし講座」は、本部布教部によって選出された講師陣が、「天理教教語」を直接使用せず、集められた一般の人々に教祖の御教えに基づいたお話を御取り次ぎし、場合によっては、教内の芸能出演者が、余興の部として歌謡や

ずーっと持ち続けて行かなければならないものがございます。まずは、一里塚を通過する地点に着いただけということをお忘れず、次の塚を目指し、過去を振り返り元を尋ね元から今日までの道のりを研究し、それを今後役に立てる姿勢を忘れることなく、いつまでも切れ目なく末代に続いてゆくつながつてゆくように陽気ぐらしへの育成を目指して活動を続けさせて頂きたいと思うのでございます。

どうぞ皆様、次の塚を目指す出発点に立ったことを忘れず、明日からの日々を、徳分にふさわしくどんな中も明るく通れる心を持たせて頂き教祖の心がつかえる女性用木に育てさせて頂きましよう。

浪曲を披露するということです。

この研修会は、笠岡大教会に繋がる百三十八ヶ所の教会が余すことなく、今年中に「陽気ぐらし



熱演する天中軒鵬さん



質疑応答：具体例を挙げて説明を進められる京塚先生

講座」を開催していただけるよう、「主催者」となるべき教会長らに「『陽気ぐらし講座』を開催することはこんなに簡単だ」ということをご理解いただけるよう、企画開催されました。

教会長・布教所長・推進要員ら約百名を講堂に集めて行なわれた研修会は、午後一時半開講。

実行委員長・田中一之氏の開会の辞、大教会長様のご挨拶に引き続き、招かれた芸能人・天中軒てんちゅうけんさんが約一時間にわたり実際に歌謡浪曲を披露されました。

天中軒さんは、ご自身が持参されたテープレコーダーから流れるBGMに合わせて、定番の「一本刀土俵入り」を演じられ、語りを交えながら、次第に聴衆を魅了されました。大教会長様ご夫妻をダシにしてのジョークを連発されるなど、教内芸能人ならではの「集まった人を喜ばさずには帰さない」という雰囲気は、参加した教会長らを「うちでも『陽気ぐらし講座』を開催しよう」という気にさせたことでしょう。

引き続き、実行委員の上原繁道氏より「全教会で陽気ぐらし講座開催」という実践項目を掲げた経緯とその趣旨が説明され、続いて、本部講演講師を代表して招かれた京塚貢先生より、「陽気ぐらし講座」を開催するに当たつての注意事項についてお話がありました。

京塚先生は、開催要項を詳細に記したプリントや勧誘のチラシの見本を配布され、具体的に分かりやすく注意すべき点についてご説明くださいました。

その後、天中軒さん・上原繁道氏も交えて、講座開催についての質疑応答が行なわれましたが、笠岡部内で実際に講座を開催した経験のある教会長は数名しかおらず、参加した人々は雲を掴むようなはなしで、「何を質問したらよいのか分からない」という雰囲気をお察しになった京塚先生が、御自ら司会者となって、天中軒さんのご意見を仰がれるなど、研修会は、最後まで有意義に進められました。

『かさおか』誌では、本号の別冊として、「陽気ぐらし講座開催要項」と「講演講師・芸能者名簿」を添付いたしましたので、実践項目完遂の上に大いにお役立てください。

教会長講習会始まる

去る二月二十六日・二十七日の両日、笠岡詰所において「教会長講習会」が開催されました。

従来は百三十七ヶ所の教会長が一堂に会して行なっておりましたが、昨年は全四次に分けて開催、本年は全三次に分け、うち第一次がこの二月に開催されました。第二次は三月末に、四月末には第三次が開催されます。

以下に、一参加者の記録に基づいて、その内容の要点を掲載いたします。

招聘講師・高田吉郎先生の講話を拝聴ご希望の方は、二次以降にその機会を得てください。

2月26日(土)

14時30分 開講、大教会長様ご挨拶

昨年は、諭達の徹底と実動の年だった。

諭達はよふばくに對して、本部員も教会長も昨日今日の新しいよふばくに對しても出されたものであり、本年は、実動の年である。

地方講習会にしても、今回の教会長講習会

にしても、講習会をするのが目標ではなく、その後の実動に目的がある。
大教会の実践項目を実動に移す上に、できない・しない理由を挙げればいっぱいであろうが、実動しようと思えば、心一つで実動できる。

⓪ 15時

高田吉郎先生 講話「教会長とは」
(北部属 梅路金沢分教会長・岡山布教寮 本部派遣講師・石川教区 布教部長)

- ・梅路金沢では、人の面では、前回、笠岡に出演した八・九年前の倍になつてゐる。
- ・おさづけを取り次げば、身上は必ず治るが、心は変わらない。本人がおたすけするようにならなければ、心は治らない。
- ・神様は、身上・事情にしろしを見て心をたすけたいと思召される。おさづけの理を拝戴したよふぼくは、“金”に凭れるのではなく、おさづけの理と神様のお働きに凭れることが大切である。
- ・「あらゆる人間思案を断ち、一家の都合を捨てて仰せのままに順う」……その理で、いかなる身上・事情も必ず不思議な御守護を頂ける。
- ・おたすけにかかる“夜眠らずに十二下りのおつとめをする”人があるが、余り感心しない。そんなことをすれば、夜間のおたすけもできないし、昼間におたすけに出ら

れなくなる。真実を受け取っていただけよいのである。

……このことについては、この後の、班別ねりあいで物議を醸した。なお、梅路金沢では、住込の人、皆に携帯電話を持たせておたすけに働いてゐる。

・(先生のご母堂様は) 18歳の頃から現在にいたる67年間、自分の物は一切買わず、つくし一条に通っている。“つくし”ができれば、おたすけはできない、天理教は栄えない。

・“教養”・“常識”・“道徳”は“信仰”ではない。たとえ、上級が人間常識ではおかしいということをしていても、それはこちらには関係ない。

問題は、どこまで親につくしたか。執着心・欲を忘れ、金に凭れないようになれば、神様に凭れる。

熱心な人は、“自分”が働こうとするが、おたすけの基本は、私たちが働くのではなく、神様がお働きくださるのである。「會長の言うことが間違っていれば、聞かなくてよい」というのは問題である。

人にさせようと思わず、ほしければ、自分がほしいものになればよい。

一例だが、まだ駆け出しの布教師だった38年前に、上級の客間の庭普請の半分の経費を自分がつくそうと苦心した。どうにか

できた数年後、自教会の庭普請の上に幾つもの不思議を見せられた。こういう例は幾つもある。

・“信者”からは“信者”、“信者”の子供は“よふぼく”にはならない。“よふぼく”になる人は、始めから聞き分けがよく、実行する人である。

“信者”は信仰をやめてしまつが、丹精はしなければならぬ。“信者”が倒れても“よふぼく”の肥となる。

⓪ 18時 10分

夕つとめ

⓪ 18時 30分

夕 食

⓪ 19時 30分

班別ねりあい「講話を拝聴して」

⓪ 22時

第1日目終了

2月27日(日)

⓪ 5時 30分

起床・洗面・廻廊ひのきしん

車に分乗して本部神殿へ、廻廊ひのきしんの後、教祖殿にて、教祖お出ましお出迎え。

⓪ 6時 45分

朝つとめ

⓪ 7時 30分

朝 食

⓪ 8時 30分

ねりあい

大教会実践項目について
①つとめに専心

大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願

仲條 分教会

*前任 重政道治

*新任 重政禎子

☆奉告祭 立教163年4月30日

立教163年2月26日承認

◎第七〇四期修養科修了者

立教163年2月27日修了

三郡 山岡啓訓
亀田山 高橋秀光

②百万軒にいがけ
③全教会で陽気ぐらし講座開催

また、本部の修養科一学期志望者が二百名を割り、大教会の時候のよい今期の志望者が3名だったことから、急ぎよ、

④修養科入学について

もねりあわれた。

①については、“教会長”としてのつとめ、上級・大教会の“神殿当番”についてその必要性などが話し合われ、“順序参拝”が少なくなつたことなども話題に上つた。また、④

◎第七〇七期修養科

自 立教163年3月1日
至 立教163年6月27日

福東 藤井節代

*教養掛

三ヶ月間 中村 剛

(大教会役員・)

久松分教会長)

一ヶ月目 横山逸郎

(東城分教会長)

二ヶ月目 山成友司

(稲富士分教会長)

三ヶ月目 佐々木滋郎

(福廣分教会長)

について、修養科入学を毎月にしたらどうかなどの意見もでた。

Ⓛ11時10分 アンケート記入

アンケートの問いは、内容的に難しかったかも知れないが、この講習会の画竜点睛として参加者の心の中を整理する上で有意義だった。

Ⓛ11時30分 閉講・布教部長挨拶

一月の本部修養科生が二百名を下回つた。全教会のことだ。教会長夫妻のつとめ方が問

われる。

笠岡でも、今期三名だが、“全教平均”などと思わず、教会長が奇蹟を見せてもらわなければならぬ。

『天理教教典』第九章「ようばく」に教会長のつとめ方について記されている。この講習会を終了された教会長の皆さんは、そこをよく読んで、自教会よふばくの方々々と談じ合いをしてほしい。

百三十七ヶ所が足並みを揃え、脇目を振らずに頑張らせていただく。

*志願者

多古浦 山本正道
稲倉 廣田純子
品治 安原良子

ふたこと みこと

「花粉症」の季節となりました。二月中旬頃から四月下旬頃にかけてほこりならぬ杉花粉が飛んで来て花粉症の人を悩ませます。普通人間の体には抗原抗体反応と言って体内にウィルスや細菌などの異物、抗原が入るとそ

れを撃退するための抗体が作られますが抗体を作る必要のない花粉や特定の食べ物に対しても過剰に反応してとんとん抗体を作ってしまう。これがアレルギー性疾患といわれるものです。教典には親神の教えを、神を箒として我が心を反省し絶えず胸の掃除に つとめることが大切とあります。私の理と教えられる心がむずかしい。先日の話所での教会長講習でおさづけで身上は必ず直る。が心はおたすけ活動をしなければ直らないと聞かせて頂きました。本年の大教会の実践項目のうち全教会で陽気ぐらし講座開催には早くも抗体を作ってしまったようですが、つとめに専心して魂に徳を頂き、百万軒にいがけ活動で、アレルギー疾患を撃退しよう。

二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます 親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎しんで申し上げます 親神様の親心溢れる御守護のまにまに 日々は結構に恙なくお連れ通り下さいます事は 誠に有難く勿体ない極みでございます 加えて「このみちをはやくみとふてせきこんだ さあこれからハよふきつくめや」と子供かわいいい一条の親心から 陽気ぐらしへ向かうこれの世界たすけの道をお付け下さいました 以来 お引き寄せ頂いた多くの人々と共に 私共もいんねんを悟り 陽気ぐらし建設のよふぼくとの自覚の元 今年も百万軒にいがけを目指しつつ たすけ一条の上に精一杯務めさせて頂いております その中にも今日の吉日は 二月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕者始め 寄り集いました道の子供達と相共に 明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりを つとめさせて頂きます 立春を過ぎたとはいえ まだく 寒い中にも関わりませず 今日の日を楽しみに 寄り集い 日頃のご高恩に改めて御礼申し上げます 皆の真実の状をご覧下さいます 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます また 本年の実践項目の一つであります陽気ぐらし講座を促すべく 昨日 大教会にて推進研修会を実施させて頂きました 参加者一人ひとりが 実体験を通して学んだ事を生かすべく 全教会開催を目指して百万軒にいがけに邁進させて頂く所存でございます 更には又 今月から三ヶ月に分けて おぢばに於て教会長講習会を開催させて頂き 今年の実践項目の更なる徹底を計り その理を全よふぼくに映して 理に繋がる皆が心を一つに合わせて 世界たすけの実動に取り掛からせて頂く所存でございます 何卒 親神様には 旬々にお聞かせ頂く親の声を頼りに 遅々たる歩みではございますが成人へと歩む皆の真実の心をお受け取り下さいます 一条の上に自由の御守護を賜り 一人ひとりのたすけ心が世の人々の心に映って 一日も早く世界中の人々が助け合い 睦び合う陽気づくめの世の状に立て替わりますようお願いの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教163年3月28日

春の学生おぢばがえり

友とおぢばへ — をやに心をつないで —

「春の学生おぢばがえり」への参加は、各教区が企画している団参をご利用いただきたいと存じますが、諸般の事情により教区からの団参に参加できない方は、直属（笠岡大教会）の学生担当委員会でもお世話どりさせていただきますので、ご遠慮なくお申し出ください（興明分教会：吉岡誠一郎まで）。

【内 容】 3月28日（教区によっては、前後日に関連行事があります）

行 事 名	時 間	会 場
式典「真柱様お言葉」	午前9時	本部中庭
直属アワー 〈別席〉	午前11時～	笠岡詰所 他
後 夜 祭	夕づとめ後	東西泉水プール前広場

婦人会創立90周年記念 第82回総会

式典

立教163年4月19日(水)
午前9時30分・本部中庭

記念行事



一手一つ喜びのパレード

日時：4月18日 夕づとめ後
コース：真南通り → 南礼拝場前 → 第2食堂前 → 東筋



講演会

日時：4月19日 12時30分
会場：
・第2食堂・第3食堂会場
・東右第1棟講堂会場
・天理大学杣之内第1体育館会場
・東講堂会場
・天理市民会館会場



写真展

期間：4月16日～26日
開場時間：午前9時～午後4時 但し
会場：東左第3棟1階
18日=教祖誕生祭祭典後～
19日=総会式典後～
26日=月次祭祭典後～

全会員ごぞつておちばへ

教祖御誕生祭団参 4月17日(月)～20日(木)
婦人会各ブロックからも、バス団参を企画しております

むつみ鼓笛隊 春の鼓笛講習会 開催要項

今年はこどもおちばがえりのテーマが変わり、御供演奏曲も変わります。一人でも多くの子どもたちに参加していただき、楽しい講習会をさせていただきたいと思います。

日時 平成12年3月31日(金) 午前 9時半 受付、10時 開講式、
～4月 3日(月) 午後 2時半頃 解散。

参加御供 2,000円。

携行品 担当の楽器、手持ちの楽譜(ファイル)、着替、洗面具、筆記具、帽子、防寒着。
(おやつはこちらで用意します)

布教所長夫妻成人研修会のご案内

下記の通り、“布教所長夫妻成人研修会”を開催いたします。

いかなる研修会も“すればそれでいい”というものではありません。その目的に合う働き、動きが出てこなければ、聴いただけの話はすぐ忘れてしまいます。“身に行なうこと”を忘れずに、真剣に受講して下さることが望まれます。

多くの方のご参加をお待ちしております。

笠岡大教会布教部

記

日 時 立教163年5月27日 午後6時30分 ~ 28日 正午まで

会 場 笠岡大教会

対 象 布教所長及びその配偶者

内 容 ねりあいと講話

講 師 山 田 鎮 郎 先生 (東濃部属春里分教会長・東濃大教会役員)

春は行事が目白押し！ 出遅れなく！

期 日	部 会	行 事 名	掲 載 頁
3月26日~27日	布 教 部	教会長講習会 (第2次)	先月号
28日 前後	学 生 会	春の学生おぢばがえり	6
31日~4月3日	少 年 会	春の鼓笛講習会	7
3月~4月	青 年 会	巡 回	カオス
4月16日~26日	婦 人 会	婦人会創立90周年記念 写 真 展	7
17日~20日	輸 送 部	教祖御誕生祭団参	
18日	本 部	教祖御誕生祭	
19日	婦 人 会	一手一つ喜びのパレード	7
		婦人会創立90周年記念 第82回総会	
		婦人会創立90周年記念 講 演 会	
26日~27日	布 教 部	教会長講習会 (第3次)	先月号
29日	婦 人 会	笠岡支部総会のための おつとめ練習	
30日	学 生 会	新入生歓迎会 (おぢば)	
5月 4日~18日	大 教 会	直轄教会定期巡教	来月号
14日	全 教	全教一斉ひのきしんデー	来月号
18日	婦 人 会	笠岡支部総会のための 大教会大掃除	来月号
22日		婦人会長様御臨席 婦人会笠岡支部総会	来月号
27日~28日	布 教 部	布教所長夫妻成人研修会	8